

## 送辞

桜のつぼみも膨らみ始め、うららかな春の香りが心地よく感じられるこの良き日。たくさん思い出が詰まった津幡中学校を巣立つ卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

先輩方と過ごした日々を振り返ってみると、心が温かくなるような思い出がたくさんあります。学校生活の様々な場面で、先輩方に憧れの気持ちを持ち、その背中をいつも追いかけていました。

特に思い出に残っているのは、部活動です。二年前、バスケットボールの仲間だけを頼りに校区外から入学した私にとって、心が落ち着く場所は部活動でした。先輩方は敵チームからきた私にも優しく声をかけ、温かく導いてくださいました。また、わたしたちがコートに立たせていただく際には、笑顔で前向きな言葉をかけ、サポートしてくださいました。優しさの中にも強さのある先輩方の姿をわたしたちは、決して忘れません。

爽やかな晴天のもと、九月には運動会が行われました。四人五脚や綱引きなどの競技に全力で取り組む姿勢には、憧れを抱きました。また、団練習では、団長、副団長、応援リーダーを中心に私達をまとめてくださいました。わかりやすく、熱の入った指導をしてくださったおかげで、団全体が明るく、居心地の良い雰囲気となりました。そして運動会当日には、「All Stars」というスローガンの通り、みんなが主人公となって輝ける舞台を作ってくださいました。先輩方がかけてくれた温かい言葉に緊張もほぐれ、楽しい思い出となったことを覚えています。

また、十月には合唱コンクールが行われました。特に最上級生である三年生の歌声は聞いている人に感動と勇気を与えていました。一人ひとりの思いがまるで天にまで届くような、まさに「天歌夢奏」というスローガンにふさわしい合唱が、昨日のここのように思い出されます。来年は私達も先輩方のように「ハーモニーを奏でたい、聴く人を感動させるんだ」という新たな目標が生まれました。

こうして先輩方との思い出を振り返ってみると、いつも私達の背中を優しく押して下さっていたことに改めて気づきました。共に過ごした時間は私達にとって、かけがえのない思い出です。本当にありがとうございました。

これからは先輩たちがいないということに、大きな不安と寂しさを感じます。ですが、私達も先輩方のように力を合わせ、笑顔あふれる津幡中学校を築いていきます。そして、津幡中学校の輝かしい歴史の1ページを作り上げていけるよう、精一杯頑張ります。どうかこれまでのように、温かく見守ってください。

この3年間共に学び、共に笑い、共に困難を乗り越え、培われてきた絆や思い出は先輩方一人ひとりにとってかけがえのないものとなっていることでしょう。これからそれぞれの道へと進めますが、どうか津幡中学校で出会った仲間をずっと大切にしてください。そして、ここで学んだことを力に、明るく、輝かしい未来を歩んでいってください。

最後になりましたが、先輩方の今後のご活躍、ご躍進を心よりお祈りして、在校生代表の挨拶とさせていただきます。

令和七年 三月十四日

在校生代表 平林 咲良

